

令和7年度第3回 長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

【開催日時】 令和7年10月10日（金）13時30分～15時30分

【開催場所】 東部浄化センター 4階 会議室

【出席者】 審議会委員 13名（参集9名、リモート4名）

事務局 長野市上下水道局 20名

【公開区分】 公開

【議 事】

(1)長野市下水道ビジョンと経営戦略について

(2)ビジョンとストックマネジメントについて

- ・長野市下水道10年ビジョンの概要について
- ・長野市下水道ストックマネジメント計画について
- ・雨水管理総合計画について

事務局から説明

質疑応答

○委員

- ・災害時の広報についてはどのように捉えているか。どういう事業を行ったとか、どういう災害が見込まれるとか、そういった広報については雨水総合管理計画の中に入っているのか。

○事務局

- ・災害の広報については、雨水計画の中で記載する予定はないが雨水総合計画については公表する。雨水管理総合計画の公表後、内水ハザードマップについても公表していく。

○委員

- ・長野市のハザードマップがあるが、内水ハザードマップはそこには盛り込まれているということか。

○事務局

- ・今長野市で公表されているハザードマップは、一級河川の千曲川や犀川の外水ハザードマップ等と、北八幡（小牧支所の辺り）地区の内水ハザードマップを公表している。それ以外の部分についてはない。今後、内水ハザードマップは、今回の雨水総合管理計画の対象地区について作っていく予定である。

○委員

- ・水道事業広域化について、長野市上下水道局では、上下水道を一体として経営管理することで、経費節減や経営の合理化を進めてきたと思うが、水道事業が一部事務組合となった場合に、下水道事業に与える影響はあるか。

○事務局

- ・現在、長野市のほか上田市も千曲市も上下一体で運営している状況である。水道事業広域化した場合、それぞれ一体化の部分が分離させるため、それによる非効率性がないかということは、一つの課題となっている。基本計画において、上下水道事業分離についての課題は掲げており、下水道の事務については、企業団設立後は企業団の方で事務の受託を行うことなどを基本方針としている。そのような基本方針のもと事業計画（案）で、下水道事業との分離による非効率がないような形を検討していきたいと考えている。

○委員

- ・住民理解を得ていくとの説明であるが、全体でどのくらい理解されていると捉えているか。

○事務局

- ・上流の上田地域と下流の長野地域では、広域化に対する市民の捉え方が違うと感じている。
長野市では、昨年 12 から本年 1 月にかけて行った基本計画素案についての市民説明会、パブリックコメント等では、大きな反対の意見はなかったと感じている。ただ、「窓口サービスが低下するのではないか」、「上下分離によるサービス低下があるのではないか」という不安の声は聞いており、解決していかなければならないと考えている。
- ・説明会も多く集まらないなど、市民にあまり知られていないというのが正直な感想である。そういった不安についても、これから事業計画を作っていく中で、多くの方にご理解いただけるように、しっかりと伝える工夫を重ねていきたいと考えている。

○委員

- ・各構成団体の財源負担について、今まで、具体的数値等が示されていない。広域化した場合の料金シミュレーションをしてもらったが、負担額によっては、水道料金も変わってきてしまうのではないかと考える。また各構成団体で資産維持率の設定も違うなどの状況でもある。その辺りの議論について可能であれば教えていただきたい。

○事務局

- ・資料 5-1 の P3 の「②重要協議事項」の中に「構成団体ごとの財源負担」とある。現在、基本計画をまとめたところで、質問に対する回答をできる段階ではないが、事業計画（案）の作成とともに、重要協議事項として、財源負担について協議していく。